

会報

★ 広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
PTA連合会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

NO. 157

平成二十八年年度 第一回単P会長研修会

とき 平成二十八年七月三十日(土) 十三時
ところ 広島県立総合体育館・リーガロイヤルホテル広島ほか

平成二十八年七月三十日(土) 十三時より、平成二十八年年度第一回単P会長研修会が広島県内各校のPTA会長が参加され行われました。

今年度の第一回単P会長研修会では、研修Iでは第四十回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文総合開会式の観覧(会場 広島県立総合体育館)、研修IIでは県高P連組織等説明、閉会行事(会場 リーガロイヤル広島)といった流れでの研修会となりました。

研修I

第四十回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文総合開会式観覧

「創造の風 希望の光 平和を願う心 三本の矢に込めて」を大会テーマとし、マスケットキャラクターはもみおん、イメージソングは「翔(かける) 未来の道」、希望に満ちた高校生の無限の創造力の祭典、2016ひろしま総文として行われました。

まず、会場へ到着すると会場周辺を彩った、二十枚の「高校生の描くヒロシマの青い絵」(美術・工芸部門)が迎えてくれ、その大きさに圧倒されました。

また、場内に掲示された家庭部門共同制作の「広島県紹介タペストリー」には、広島県の多彩な気候の風土と名産物が丹念に織り込まれて目を楽しませてくれます。

会場入り口には入場は待ちわびる長蛇の列の中、丁寧に来場者の皆さんに接している広島県立広島商業高校の生徒さんたちの姿が見られました。

会場に入ると全国の来場者を迎える赤のポロシャツを着用した高校生実行委員会の役員たちが部署の中を案内したり、会場案内などスムーズに誘導していました。



2016ひろしま総文の始まりを告げるオープニングセレモニー。記念すべき第四十回大会としてこれまでの大会で受け継がれてきた想いをのせて、大会基本方針である「夢を持つ、挑戦をする、感動する」を表現する開会式にふさわしい格調高いイベントが繰り広げられました。

また総開会式では秋篠宮殿下、真子内親王の御臨席を賜りました。

総開会式の様子を御紹介させていただきます。

第一部（式典）

オープニングアクトはバトントワリング四校合同チームによる華麗な演技で観客を魅了しました。

一 都道府県代表生徒による入場

各都道府県の方言を交えながら地元PRなど地域性あふれる個性豊かな決意発表となりました。

広島県代表生徒、県立広島国泰寺高校青木悠太郎さんによる決意発表。

「あついんよ。てっばん、お好み、ひろしま総文！」会場からも大きな声援が送られていました。

海外招へい国代表生徒入場。

全国高校総合文化祭では毎年海外からの団体（高校生）をお招きしています。

総合開会式の出演、パレードへの参加開催地高校生との交流を通して国際交流を目的としています。

「2016ひろしま総文」では中国・アメリカ・メキシコ・韓国の四か国からの参加がありました。

二 開会宣言

広島県生徒実行委員会副委員長（県立広島観音高校）阪本匠さんによる開会宣言

三 全国高等学校文化連盟旗の引継ぎ

昨年度開催地「2015滋賀 びわこ総文」代表生徒より広島県代表生徒へと連盟旗が引き継がれました。

四 国歌斉唱

五 全国高文連の歌合唱

六 大会役員、関係者代表御挨拶

大会会長（公益社団法人全国文化連盟会長）高橋隆様、大会名誉副会長（文化庁次長）中岡司様、広島県実行委員会名誉会長（広島県知事）湯崎英彦様より、各都道府県を代表して参加している高校生たちに激励のおこたばを頂きました。

七 秋篠宮殿下からのおこたば

秋篠宮殿下からは「高校生による芸術文化の祭典が開催されていることは、国民の芸術や文化に対する関心をさらに高め、参加意欲を喚起する上で、誠に意味深い」とのおこたばを頂きました。

八 生徒代表歓迎のことば

広島県生徒実行委員会委員長（県立広島商業高校）平田みやびさんによる歓迎の挨拶です。

「この大会では高校生の思いや可能性、そしてここ広島の魅力がたくさんの方に知っていただくため高校生が中心となって企画・運営を行っています。高校生一同、御来場くださる方々へ精一杯おもてなしをさせていただきますので、皆様には是非、私たち高校生の雄姿を見届けていただきたいと思えます。高校生つてすごい！もともと広島について知りたい、広島が好きになったと思つていただけるとうに頑張ります。」生徒実行委員を代表した、堂々とした立派な挨拶でした。

九 大会イメージソング合唱

第一部の締めくくりは式典音楽隊による大会イメージソングの合唱でした。

第一部（交流）

交流ステージの幕開けは、次年度開催の宮城県生徒企画委員長との食を通じたお互いの紹介でした。

続いて海外四か国の招へい校による伝統芸能ステージでした。

○中国・四川省の内江市第七中学校の皆さんによる「舞動中国」

○アメリカ・ハワイ州のモアナルア高校、プレジデント・セオドア・ルーズベルト高校の皆さんによる「フラ演技」

○メキシコ・グアナファト州のサンフランシスコ・デ・リンコン高校とゲアンナフアト大学付属イラプアト高校の皆さんによる「メキシコ伝統音楽、伝統舞踊」

○韓国・ソウルの大眞女子高校の皆さんによる「小鼓舞」と四か国の特徴を分かりやすく表現されたステージになりました。

また第二部の最後には、国際交流生徒実行委員が各国生徒へ食文化を中心にインタビューをしました。

国際交流を目的とした中で高校生の語学力の高さには感心させられる一方でした。

第二部（開催発表・テーマ「伝える」）

一 世界に誇る、ひろしまの伝統文化

第三部は広島を伝えるパトからの幕開けです。

○進徳女子高校の皆さんによる雅楽の演奏
鞆の浦の光景をモチーフにした「春の海」を尺八と福山琴で披露しました。

その後、六校の合同箏曲、尺八とかチームとなり修道高校軽音楽とのコラボレーションとなりました。伝統と現代が融合した瞬間となりました。

○広島新庄高校の皆さんによる県北地域で盛んな神楽の演奏

○県立黒瀬高校の皆さんによる和太鼓の演奏

○県立五日市高校の皆さんによる熊野筆で書き上げた大書

各校とも広島の伝統を守り、継承していく生徒たちの姿にひろしま文化の未来を感じました。

二 歌い、語り継ごう、平和への思い
平和の尊さを伝える。県立五日市高校木村智子さんの語りから始まります。

爆心地から約2kmのところまで被爆した被爆ピアノの演奏と、当時の高校生が書いた原爆の詩を朗読しました。

平和の尊さを伝えること、語り継いでいく事の大切さを再認識させられる場面でした。

今年、被爆から七十一年目を迎え平和な世界の実現のためには高校生をはじめとする次世代を担う若者が自ら考え、行動を起こしていくことが重要であると感

じました。

第三部の最後では式典音楽隊の十一校合同合唱団による「大地讃頌」の合唱です。大変美しい調べでした。

広島市立沼田高校の華やかなマーチングで幕を閉じました。

ファイナーレでは総合開会式生徒実行委員長の県立広島国泰寺高校土肥美玲さんと藤井彬さんがバトンを繋いでいこうというメッセージを伝えられました。

最後には出演者全員が登場し大会イメージソングの大合唱ですべてのプログラムを終了しました。

全国高等学校総合文化祭は、文化部のインターハイと位置づけられた大会です。第四十回という節目の大会で生徒たちが「自ら企画し運営していく」という強い思いの中、広島県の文化と伝統、そして平和への尊い想いを高校生の手で演じ、伝えてくれた総合開会式でした。

準備期間が三年にわたるとのことです。運営委員会の生徒の皆さん、役員、関係者の皆さんには敬意を表したいと思います。

研修II

第四十回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文総合開会式の観覧後、リーガロイヤル広島に会場を移して行われました。

冒頭に広島県高等学校PTA連合会北村正次会長より御挨拶があり、ひろしま

総文総合開会式についてお話しされました。



「広島県の高校生の意気込みを感じることができ、子供たちからパワーをもらいました。私たち親もまだまだ頑張れるのではないか。」

高校生のクオリティーの高さを感じ、どこにでも誇れる感動的な総合開会式でした。

引き続き平成二十八年度の広島県高等学校PTA連合会の組織、活動概要についての説明をしていただきました。

質疑応答の場面も設けましたが無事に閉会行事となり、閉会の言葉をもって平成二十八年度第一回単P会長研修会を開会しました。

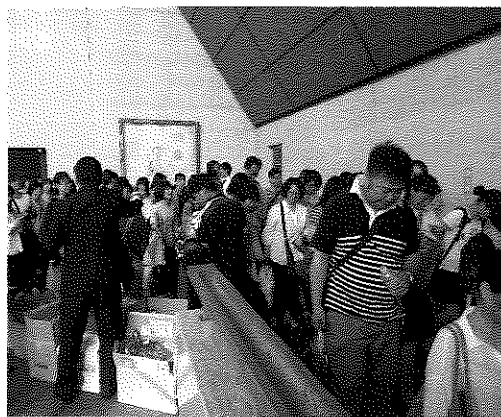
(調査広報委員 森田隆司)



平成二十八年度
 広島県高等学校PTA連合会
進学説明会
 とき 平成二十八年八月十一日(木)祝
 ところ 広島県民文化センター

毎年恒例の進学説明会が、八月十一日(木)に「平成二十八年度県内国公立大学進路説明会」として県民文化センターにて開催されました。
 当日は、今年から施行された「山の日の祝日」とも重なり、五百名近い参加者で会場内は熱気に満ち溢れていました。

今回の説明会に参加していただいた大学は、海上保安大学校・広島大学・県立広島大学・広島市立大学・尾道市立大学・福山市立大学の六校です。
 北村正次会長の開会挨拶の後、各大学の説明に入る前に、駿台予備校の進路指導担当者の講演が行われました。



大学受験の心構えや対策など、普段聞くことのできない受験のプロからのアドバイスに、受験生を持つ親として大変興味深く、また参考になりました。

続く各大学の説明では、二十分という短い時間ながらも県内国公立大学が一堂に会する滅多にないチャンスとあり、参加者の皆さんは大変熱心に耳を傾けておられました。

私自身は昨年に引き続き二回目の参加

でしたが、各大学とも特長や求める学生像などわかりやすく説明されていました。地元の大学として、地域密着と人材育成に力を入れられている様子が大変よく理解できました。

参加された会員の皆様にとっても有意義な時間となったのではないのでしょうか。参加者から回収したアンケートには、「駿台予備校の先生のお話がとても面白く参考になりました。子供はまだ、一年生でのんびりしておりますが、先生のお話を参考に子供をサポートしていければと思います。有難うございました。」など、参考になった、面白かったという御意見を多く頂きました。

また、各大学の説明に関しては、「最近の受験の傾向やインターネット出願など、知ることができて良かったです。パンフレット等、どの大学もわかりやすく良かったです。」などの御意見を頂きました。

皆様、貴重な御意見ありがとうございました。頂いた御意見御要望などは、来年度の委員会へ引き継ぎ、今後より良い進学説明会実施に向け、参考にさせていただきます。

最後になりましたが、当日の司会を務められた山路進路対策委員会委員長（安西高等学校PTA会長）をはじめ運営に携わった委員の皆様、大変お疲れ様でした。

（進路対策委員 宮崎 真）

第六十六回全国高等学校PTA連合会大会
千葉大会
 とき 平成二十八年八月二十五日～二十六日
 ところ 幕張メッセ

幕張メッセという様々なイベントが開催されるこちらの施設で、八月二十五日二十六日の二日間の日程で第六十六回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会が開催されました。六十六回目にして初めて千葉での開催です。

今回のメインテーマは「再発見！愛」、サブタイトルは「今こそ信じよう愛の絆」。大きく変化する社会の中で不安を抱えて生きていく子ども達に今何がもたらされているのか。「学校」「家庭」「地域社会」とのつながり、「愛の絆」を確かなものとするために私たち大人ができることは何かを真剣に議論する大会となりました。

初日、メイン会場とサブ会場の二か所でアトラクションが行われ、メイン会場では全日本吹奏楽コンクール金賞など五冠を達成した柏市立柏高等学校吹奏楽部による演奏で開幕となりました。

「あなたに会いたくて」と「花は咲く」では素晴らしい演奏と共にソロの素敵な歌声で会場を沸かせました。



開会式では、千葉大会実行委員会田順光副委員長の挨拶に始まり、一般社団法人全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長の挨拶を頂き、文部科学大臣松野博一様、千葉県知事森田健作様、千葉市長熊谷俊人様より祝辞を頂きました。森田健作県知事からは力強い挨拶の中で、母親からの「自分にしかないいいところがある。個性を大切に。」という言葉で自身の人生が変わったというお話をして頂きました。



開会式に続き、「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」今こそ信じよう高校生を」というテーマで千葉敬愛短期大学学長の明石要一氏による基調講演がありました。

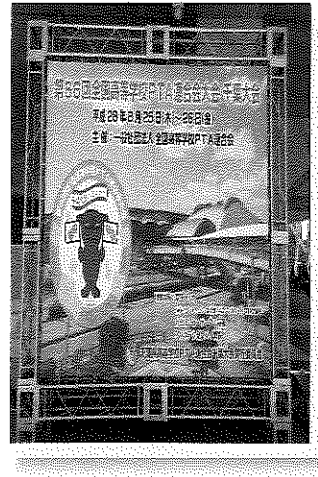
「最初にまず私と『ジャンケンゲーム』をお願いします。」と始まった講演。そのゲームの形で女性は三通りのタイプに分かれるのだそうです。負けず嫌いでリーダーに向いている人（親指が外側になるグー）、良妻賢母な人（親指が内側に入る人）、知的能力が高くアンテナが高く情報をキャッチするのが上手な人（親指が真ん中にある）。この三人の女性が集まってPTA役員の活動をするとうまくいくので、これからPTA役員を決める場合はジャンケンゲームで決めたら楽しい役員会になるのではないかというお話をし

て頂きました。

「時代は変わった」ということで、昔と比べて子供がどう変化しているのか何点か述べられました。

まず、今の子供たちはミーティングが出来ない。相談はするけれども、意思決定はしない。指示されることを待ち自分で物事を決められなくなっている。

次に、肉食女子草食男子。小学生から出現している。女性はそれほど変わっていないが男性がひ弱になってきた。女性には仲間を作るのがうまいが、男性は下手である。男性はポジションをもらおうと動けが、ポジションがないとなかなか動けない。



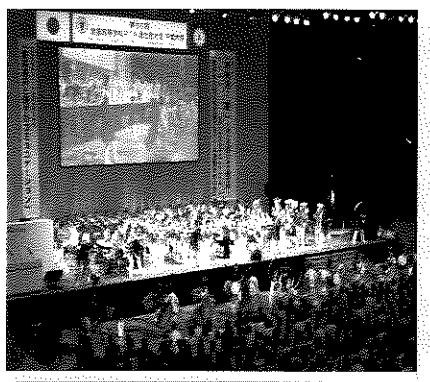
そして、子供が大人化している。子供たちが大人と同じような生活をしている。忙しい中高生が多く手帳を持った生活をしている。

これらの子供たちの変化に学校、家庭、地域がどのように接していかなければならないのが課題です。子供が自立する為には、様々な経験体

験をすることが大事である。また、大人が信念をもって物事を子供たちに伝えていかなければならない。

判断力とは学校で身につけていくものだが、決断力とは家庭と地域でつくられていくものである。

今の社会では、先生と生徒または親子といった縦の関係、子供同士といった横の関係はあるが、親や先生以外の大人、いわゆる地域の人達との斜めの関係が減ってきている。斜めの関係が大事なのではないか。



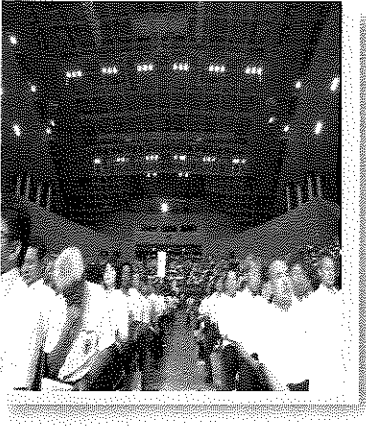
各家庭で家風、各学校で校風、各地域で地域色、地域のカラーを出し、家庭と学校と地域の三つのトライアングルで子供たちが育っていく環境をつくっていかなければならない。

また、高校生になると褒められたり叱られたりすることが少なくなっているので、今一度「良いことは褒める。悪いこ

とは叱る」を意識して「褒めて叱って育てる」ということをしてほしいと話されていました。

地域の行事などが減ってきている中で、家庭と学校と地域が一体となって子供を育てていくことがとても大事なことであり、これからの活動の中で取り組んでいかなければいけない大きな課題だと感じさせられた講演でした。

昼食は、千葉県立佐倉高等学校調理国際科の生徒の協力で作られた千葉県の特産物が盛り沢山のお弁当を美味しく頂きました。昼食時に行われたアトラクションは千葉県立八千代高等学校二年岡谷柚奈さんの弾き語り。今回の大会テーマソングになっている『自分色』を披露して頂きました。シンガーソングライターになるのが夢だそうです。近いうちにどこかで歌が聴けるのを楽しみにしています。



午後からは、七つの会場に分かれ、全国高P連研究発表、分科会、特別分科会が行われました。全国高P連研究発表

では、テーマを「進路選択と親子のコミュニケーション」とし、第一部ではリクルートマーケティングパートナーズリクルート進学総研小林浩所長による基調講演が行われ、第二部では全国高等学校長協会宮本久也会長、全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長、千葉県立柏高等学校鈴木裕枝前PTA会長をパネリストに迎え対談とディスカッションが行われました。

二日目のアトラクションは、千葉県立八千代高等学校の通称「和太鼓芸能集団鼓組(くぐみ)」と言われる和太鼓部のみなさんによる演奏が披露されました。和太鼓の響きが心に届きとても堂々とした素晴らしい演奏でした。

記念講演として、千葉県出身である女優市原悦子さんの「私の選んだ女優の道」というテーマで講演が行われました。観客席から登場されゆくりとステージへ。六十年間女優の仕事が続けてこられたことがとても幸せだと言われていました。特にお稽古している時間が好きだそうです。

戦後の暮らしや疎開中お世話になった方々のお話、そして『ねずみの木の話』『嵐になったお母さん』の二作の朗読を聞かせていただきました。とても心地良い引きつけられる声での生朗読に、とても素敵な時間を味わうことができました。

最後に一日目に行われた各分科会からの報告の発表があり、閉会式へと移りま

～PTA功労表彰の御紹介～

第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会では、永きにわたりPTA活動に御尽力いただきました、次の皆様が御受賞されました。

平成28年度優良PTA文部科学大臣表彰

広島県立湯来南高等学校PTA

第66回全国大会会長表彰 個人

金井 栄一 広島県高等学校PTA連合会前副会長
広島県立吉田高等学校 元PTA会長
金廣 絵美 広島市立広島商業高等学校前PTA会長

第66回全国大会会長表彰 団体

広島県立呉昭和高等学校PTA

御受賞おめでとうございます。
皆様に感謝申し上げますとともに心よりお祝い申し上げます。

熊本地震義援金についてのお礼と御報告

熊本地震の義援金について、広島県高P連に、会員・生徒・児童の皆様より、1,943,526円の義援金が寄せられ、全国高P連にお送りさせていただきました。全国高P連には、11月28日現在、45,271,947円の善意が寄せられています。皆様の御協力と御支援に心から感謝申し上げます。

(県高P連事務局)

した。
閉会式では、千葉大会実行委員会金子浩章副委員長により
一 私たち大人が環境を整え子どもたちの資質や能力を育むように努める
一 私たち大人が連携し手本を見せ子どもたちの夢の実現の支援に努める
一 私たち大人が家庭学校地域と連携し子どもたちの思いやりのある豊かな心を育てるように努める
一 私たち大人が人と人との付き合いを

通して子どもたちに次世代に繋がる真の信頼関係を築くためのコミュニケーション力を伝えるように努める
と大会宣言が採択されました。
次回開催について静岡大会実行委員会杉浦政紀実行委員長から挨拶があり、最後に大木幸夫実行委員長の閉会挨拶で千葉大会全日程を終了し、無事閉会となりました。
(調査広報委員代理 五日市高校PTA副会長 大畑明子)

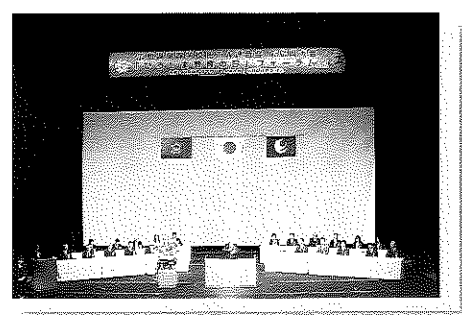
平成二十八年度 広島県高等学校PTA連合会 広島県大会
とき 平成二十八年十月二十二日(土)
ところ 三次市民ホールきりり

平成二十八年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会が、平成二十八年十月二十二日(土)十時から三次市民ホール「きりり」において、「挑戦」を創造する力で未来はひらけるをテーマに、県内八地区より約八百人の会員が参加して盛大に開催されました。

また本大会では、広島県教育委員会が主催する「ひろしま教育の日フォーラム」との併催が初めて試みられ、例年より約三時間早い大会開始となりました。

本大会の日程は、アトラクション第一部(庄原格致高等学校邦楽部)、開会行事、広島版「学びの変革」概要説明(広島県教育委員会)、実践事例発表(尾道市立土堂小学校)、高校生パネルディスカッション(三次高等学校、日彰館高等学校、庄原実業高等学校、御調高等学校)、アトラクション第二部(三次高等学校校応援部)、アトラクション第三部(吉田高等学校神楽部)、講演(宮本延春氏)、事例発表(油木高等学校)、閉会行事で構成され、十六時十五分頃全日程を終了しました。

開会に先立ち、アトラクションとして庄原格致高等学校邦楽部による演奏



が披露され、幻想的な箏曲の音色と和装を纏った生徒達の一糸乱れぬ演奏で我々大会参加者を出迎えていただきました。「さくら」に始まり、二曲目の「未来へ」が演奏される頃には会場全体が「花は咲く」が演奏され、東北大地震で被害に遭われた方々へ思いを馳せながら聞かせていただきました。演奏終了後、一瞬の静寂の後、会場から大きな拍手が沸き起こり、大会の開始に向けた機運が一気に高まりました。普段、箏曲に接する機会の無い自分にとって

貴重な体験となりました。

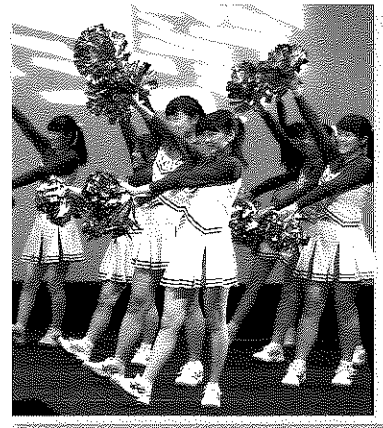
開会行事では、宇山茂之大会実行委員長の力強い「開会のことば」に続き、北村正次広島県高等学校PTA連合会長、下崎邦明広島県教育委員会教育長の主催者挨拶、そして、御来賓の方々を代表して、増田和俊三次市長、森嶋勝也広島県公立高等学校長協会会長より御祝辞を頂戴しました。

開会行事終了後、ひろしま教育の日フォーラムのプログラムに移行し、諸藤孝則広島県教育員会教育部長より、広島版「学びの変革」の概要説明がありました。グローバル化の進展などにより、様々な課題がますます変化・複雑化・高度化する先行き不透明な社会を乗り切るために、子供たちが「自ら考え、判断して物事を進める」が重要である。そのために主体的な学び（学習者基点の能動的な深い学び）を推進するため、各学校が今まで以上に授業の工夫に取り組んでいるとの事でした。

続いて、「学びの変革」の実践事例について二件の発表がありました。

一件目は、尾道市立土堂小学校の児童たちが、尾道で課題の空き家問題の解決策を提案する活動を行う中で、様々な課題に直面するが、児童たちが主体的に意見を出し合い、その解決方法を探求・実行し、学校HPでの情報発信に辿り着いた事例発表でした。児童たちそれぞれの活動報告が掲載されていますのでぜひ閲覧してください。余談になりますが、同校のHPは二〇一二年「第九回日本小学校

HP大賞で全国一位を獲得されています。



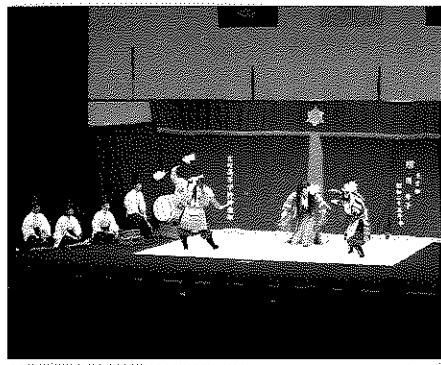
二件目は、御調高等学校の生徒たちが、「総合的な学習の時間（まなびのとびら）」において、御調の五つの宝（食物、ソフトボール、福祉・医療、文化・伝統自然）を活用した地域活性化の取り組みを食物グループの活動を例に発表しました。

パパイアの栽培に始まり製品化に至る過程で発生した課題を地域と連携する事で解決、その振り返りをおして、物事を多面的に考える力や他者と協力する態度が身についたという事例発表でした。道の駅「クロスロードみつき」で同校の製品が販売されているのでぜひ購入をお願いいたします。

続いて三次高等学校、日彰館高等学校、庄原実業高等学校、御調高等学校の生徒たちによるパネルディスカッションです。それぞれの学校が、中山間地域が抱えている課題とそれに対する取り組みについて、五分間で発表を行った後、全員で共通の課題や解決策を話し合う形式で行われました。

三次高等学校は、若者が主体的に計画し、都会と田舎をつなぐイベント「トナカイフェス」を開催し、地元の良いさをアピールし、興味を持つ人を増やすという取り組みを発表しました。フェスは来年四月に「シヤレオ」で開催されますので、ぜひ御来場ください。

日彰館高等学校は、人口減少が課題と考え、解決策として集客力のあるイベント「顔出しパネルによるギネスに挑戦」を提案し、地域の方に協力を依頼し、共に活動する取り組みを発表しました。



庄原実業高等学校は、地域農業探求授業での「フィールドリサーチ」を通して、地域の農産物を使った特産品による地域活性化を課題と捉え、その解決策の一つとして地域の方と連携して実施した「田んぼアート」などへの取り組みを発表しました。

御調高等学校は、総合的な学習の時間「まなびのとびら」において、「御調の

五宝」を活用した地域活性化の取り組みを発表しました。



引き続き行われたパネルディスカッションでは、広島井口高等学校校長尾先生の軽快かつユニークな司会により、各校に共通する課題と解決策について活発な意見交換が行われました。共通の課題としては、地域への興味・関心の希薄さ（有名なものは知っているが、なぜ有名か知らないなど）、世代間GAP（コミュニケーション能力の問題）、様々な取り組みが自分事になっていないなどが上がりました。その解決策として、生徒が主体（自分で考える、自分事（高校生として本当に出来るのか）にする、地域を良く知り、情報を発信するなどが提案されました。そして「つながり」がキーワード。地域を呼び込み、一緒にやるからこそ地域が活性化する、みんなで考えることで新たな解決策も生まれるとの結論に至りました。

実践事例発表、パネルディスカッション

ンを通して、子供たちが課題に対し、自ら（主体的）に取り組んでいることが伝わりました。

続いて、アトラクションの二部として三次高等学校応援（ダンス）部のチアガールパフォーマンスが披露されました。

軽快な音楽に合わせて舞う生徒たちの笑顔と躍動感溢れるパフォーマンスで会場が華やかな雰囲気一新されました。

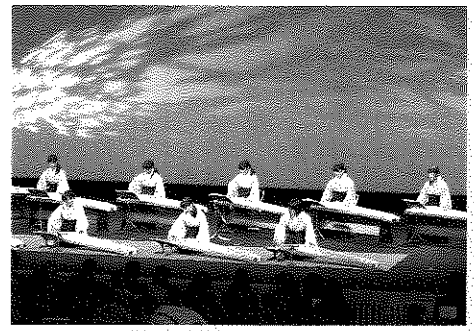
同部は、広島県高等学校ダンス連盟にも加盟し、ダンスとチアパフォーマンスの二刀流で頑張っています。

続いて、アトラクションの三部として

吉田高等学校神楽部による演舞（悪狐伝）が披露されました。心地良い邦楽器のリズムと華やかに舞う生徒たちの姿に、会場全体が吸い寄せられました。中でも、道化師役珍齋の広島弁丸出しの軽快なトークに観客席中が笑いの渦に引き込まれ、会場を大いに盛り上げてくれました。演舞が終了すると、観客席中から割れんばかりの拍手が沸き起こり、暫く鳴りやまない状態が続きました。初めて神楽を見た方も多く、その魅力に取り付かれた方も多くいらっしゃいました。

今大会の講演は、講師に元高校教師であるエッセイストの宮本延春氏をお迎えし、演題は「オール1の落ちこぼれ、教師になる」く創造する力で未来はひらけるくで行われました。

宮本先生は、小学生、中学生の頃に受けたイジメが原因で、学校・勉強が嫌いとなり、中学校一年生の成績はオール1と落ちこぼれ、高校受験も叶わず、大工



見習になるが親方の罵倒に耐え切れず、二年で退職。時に水で腹を満したり、テレビでヒントを得て蟻を食べたりするなど、極貧生活を体験するなど、夢や希望など持てない十代を過ごしてこられました。再就職先の社長との出会った事が人生の転機となったそうです。人間には、ピラミッド型に下から、生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、認証の欲求、自己実現の欲求と五つの欲求があり、1つの欲求が満たされないと次の欲求が生まれないと、社長のおかげで

（住む場所の確保）、所属と愛・承認の欲求（社長に愛され、認められている）を満たす事が出来たそうです。その様な中、NHKスペシャルのインシユタイロンマンに感銘を受け、物理に興味を持ち、物理を勉強したい（自己実現の欲求）との気持ちが生まれたそうです。そこから、小学三年生のドリルから独学で猛勉強を始め、見事高校（定時制）入

学を果たし、更に名古屋大学（地元で唯一物理学部がある）を第一志望と定め、本格的に勉強し合格、卒業後は出身校である豊川高等学校の教諭に採用され現在に至っているとのこと。その様な御自身の体験より、多くの有意義な御言葉を頂きました。

いじめを受けている子に対しては、頑張れなどの応援や同上などより、共感的理解（気持ちを理解し、価値観を押し付けず、寄り添う）事が大事、記憶方法（認知特性）には、視覚（見て覚える）、聴覚（聞いて覚える）、言語（書いて覚える）が存在し、子供たちの特徴に合わせて選択が重要となる。正しい方法で一定量勉強すれば、必ず成功する。野球のキヤッチボールを例に「人に感謝を届ければ、感謝の形で返ってくる」。子供への指導については、勉強をさせる事を事例に、「勉強しなさい」↓「反発心が生まれ勉強しない」といった命令形では無く、「勉強は御飯の前にする、食べてからにする」↓「じゃあ、御飯の前に」という、提案と選択型を紹介いただき、「なるほど」と思わず唸ってしまいました。

その様な数々のお話の中で最も心に残ったのが、「当たり前前の反対はありがとう。悪い事は気にしなくても気付くが、感謝の気持ちは意識しないと気付かない。一日に五回ありがとうと言いましょ」というお言葉でした。

ユーモアと私たちが直ぐに実践出来るヒントを交えた講演で、九十分という時間「あつ」という間に過ぎさつてしま

いました。

続いて、油木高等学校の丸山義道PTA会長から「油木高校とPTA活動」をテーマに事例発表が行われました。



最初に同校を紹介するビデオが上映され、耕作放棄地を有効活用する産業ビジネスの取り組み①ミツバチプロジェクト②ナマズプロジェクトが紹介され、広島スタジアムでのナマズ照り焼き丼の販売、湯崎県知事の視察などの様子が映し出されました。普通科では、神石高原町主導の①衛星通信講座「サテライン」や公設民営化塾「はやぶさ」などの取り組みが紹介されました。

ビデオ上映に続いては、PTAの活動を丸山会長と愉快な仲間達が、ゆるやかな「栄光の架け橋」の替え歌で披露され、会長を中心としてPTA活動が楽しい雰囲気で行われている事が伝わりました。

閉会行事では、次回開催予定地区の広島西地区の皆さんが開催案内の横断幕を

掲げて登壇し、桂直美連合会長よりお招きの言葉と御挨拶がありました。次年度は、平成二十九年十月一日(日)廿日市市の「はつかいち文化ホールさくらびあ」での開催となります。

そして、最後に下岡芳彦副実行委員長より、大会成功に対する感謝の気持ちと「閉会のことば」が述べられ、全大会日程を無事に終了しました。この様な素晴らしい大会を開催頂

全県一斉あいさつ運動ポスター入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会の中の五委員会のひとつ、健全育成委員会の事業の一環として、平成二十三年度より「全県一斉あいさつ運動」を開始し、今年で六回目を迎えました。

毎年十一月一日を実施日としており、本年度も各校で実施いただくように依頼し、開始から六年を超え、以前にお配りしました

あいさつ運動のためののぼり旗の劣化に伴い、御希望校へ再配布させていただきました。

当日は各校各地であいさつ運動を実施いただき、本委員会の活動

も活性化できました。また、本年も引き続き、ポスターを募集し、委員会で厳正なる審査会を実施し、十一月一日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布いたしました。

応募総数五十六点の作品の中から、



た三次地区高等学校PTA連合会の皆様をはじめ、御尽力いただいた皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。(調査広報委員 茶谷昌樹)

んの作品が優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。

〔優秀賞〕

広島県立呉宮原高等学校

二年 胡間 舞子

〔佳作〕

広島県立広島井口高等学校

一年 栗栖野々花

広島県立広島井口高等学校

二年 川崎友萌佳

広島県立呉商業高等学校

三年 木原 未晴

〔会長特別賞〕

広島県立黒瀬特別支援学校

高等部 三年 平岡 照虹

次年度も委員会活動の一環として、ポスター募集を行う予定です。たくさんの方の御応募をお待ちしております。

平成29年 県高P連行事予定

- 平成29年1月21日(土) 平成28年度第2回単P会長研修会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成29年3月16日(木) 平成28年度第2回常任委員会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成29年6月13日(火) 平成29年度県高P連定例総会(県民文化センター)
- 平成29年6月27日(火) 平成29年度第1回常任委員会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成29年7月14日(金) 第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会山口大会
(下関市 海峡メッセ下関)
- 平成29年7月29日(土) 平成29年度第1回単P会長研修会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成29年8月12日(土) 広島県高等学校PTA連合会進学説明会(広島県民文化センター)
- 平成29年8月24日(木)~25日(金) 第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会
(袋井市 静岡県小笠山総合運動公園エコパ エコパアリーナ ほか)
- 平成29年10月1日(日) 広島県大会(担当 広島西地区高P連)(はつかいち文化ホールさくらびあ)
- 平成29年11月1日(水) 全県一斉あいさつ運動

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、こども総合保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引15%適用
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品（学校管理下動産担保特約）の補償は学校管理下中のみです。
○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
4. 「スクールメディカルデスク24」で24時間無料電話健康相談サービス付き
○「スクールメディカル・デスク24」は、東京海上日動メディカルサービス㈱との連携により、同社からご提供いたします。
※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(平成28年4月25日午後4時より平成29年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	1事故 2億円 限度	1事故 1億円 限度	1事故 1億円 限度	1事故 5,000万円 限度	1事故 3,000万円 限度
病気入院日額 (1日あたり)	5,000円 (4,500円)	4,000円 (3,500円)	—	—	—
傷 害	入院日額 (1日あたり)	4,000円 (3,500円)	3,800円 (3,500円)	2,900円 (2,700円)	2,500円 (2,100円)
	通院日額 (1日あたり)	3,400円 (3,200円)	2,400円 (2,300円)	2,400円 (2,200円)	1,300円 (1,200円)
手術	入院日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。 傷の処置等のお支払の対象外の手術があります。				
死亡・後遺障害	239.0万円 (232.6万円)	221.2万円 (214.7万円)	218.3万円 (208.3万円)	202.0万円 (185.2万円)	137.6万円 (126.2万円)
被害事故補償	1事故 1,000万円 限度	1事故 1,000万円 限度	1事故 1,000万円 限度	—	—
育英費用	100万円	100万円	100万円	50万円	—
携行品損害補償 (学校管理下動産担保特約) 〈免責金額(自己負担額)〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	—
年間保険料	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円	4,650円
制度維持費	350円	350円	350円	350円	350円
制度掛金 (1年分)	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円	5,000円

○携行品の損害保険金は1年間で10万円が限度(注)となります。
(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。
※こども総合保険については被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数により保険金額が一部変更となることがあります。(上記保険金額は被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数が、5,000名以上10,000名未満の場合です。3,000名以上5,000名未満の場合は()内の保険金額となります。) ※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。
※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者一保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。
※病气入院(入院医療保険金)について：新規ご加入時の支払責任の開始日より前に被った病气については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内はこども総合保険の内容についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東海日動パートナーズ 中国四国 TEL:0120-018-217 平成28年3月作成 (15-T10994)

(引受幹事保険会社)



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

(共同引受保険会社)



AIU損害保険(株) 広島支店

Member of AIG
広島市中区基町11-10
合人社広島紙屋町ビル
TEL 082-222-4351

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIU損害保険株式会社